

平成 27 年度 ITS セミナーが 開催された

ITS・新道路創生本部 中村 徹、黒澤 由佳

REPORT

1 はじめに

(一財)道路新産業開発機構 (HIDO) では、毎年、民間企業等の ITS に関わる人材育成支援、人材交流のため、セミナーを実施しています。平成 27 年度は、12 月 4 日の午後 1 時 15 分～午後 5 時に開催いたしました。今回のテーマは、「ITS の最新動向」として、国土交通省、大学そして民間企業の方を講師として招き、講演して頂きました。

日時：平成 27 年 12 月 4 日 (金)

場所：HIDO 会議室

対象：ITS に携わっている中堅職員

参加者：84 名 (昨年 46 名)

【講義】

①『これからの交通政策とビッグデータ』

筑波大学 システム情報系

社会工学域 教授

石田 東生 氏

②『ITS の取り組み (ETC2.0)』

国土交通省 道路局道路交通管理課

ITS 推進室 課長補佐

中尾 吉宏 氏

③『高度運転支援システムおよび自動運転技術の取り組み』

(株)本田技術研究所 四輪 R & D センター

第 12 技術開発室 上席研究員

横山 利夫 氏

④『HD マップ、ロケーションクラウドと次世代 ITS』

HERE Japan(株) オートモーティブ事業部

市場戦略本部 アジア太平洋地域担当 本部長

Mandali Khalesi (マンダリ カレシー) 氏

2 『これからの交通政策とビッグデータ』

既にあるビッグデータとビッグデータを活用した交通政策、ビッグデータの期待についてお話しいただきました。

既に存在し活用されているビッグデータや注目が集まっているビッグデータについて紹介していただきました。注目されているビッグデータには人の移動に関するビッグデータ、外国の自転車シェアリングに利用されているビッグデータの活用についてお話を頂きました。

ビッグデータの交通政策の新たな展開として、公共交通で利用されている地方のバスの事例、まちづくりの事例として富山の LRT が紹介されました。

ビッグデータの今後の期待と課題として、①交通政策と都市政策・産業政策との融合、②交通政策と交通計画と交通運用の運用、③市民や利用者の理解 (個人情報保護) が挙げられていました。



石田氏による講演

3 『ITS の取り組み (ETC2.0)』

国土交通省の「道路を賢く使う取組」、「ETC2.0 のシステム概要」そして渋滞を減らすための賢い料金（外環道を利用した新たな料金の導入）などについてお話しをいただきました。

ETC2.0 を利用した賢く使う取組みとして、①賢い投資、②賢い料金、③賢い料金所そして④賢い物流が紹介されました。特に、ETC2.0 を利用した首都圏の新たな高速道路料金について詳しい紹介がありました。

自動走行システムや次世代協調 ITS の共同研究など今後の ITS 構想についてもお話しをいただきました。



中尾氏による講演

4 『高度運転支援システムおよび自動運転技術の取り組み』

一昨年度から続き、今年度も自動運転について ITS セミナーで取り上げました。トヨタ自動車、日産自動車に続き、今年度は本田技術研究所の横山様に本田技術研究所の「高度運転支援システムおよび自動運転技術の取り組み」についてお話しをいただきました。

過去に行われた自動運転のダーパの実験（米国）、本田技研の自動運転の取り組みについてお話しをいただきました。

本田技研では、“安全、快適、自由な移動、いつでもどこでも Door To Door” という考えで自動車の技術開発を行っています。

自動運転で難しいのは、合流がとても難しく、渋滞時の合流は車単独の技術ではギブアップするしか無く、合流を自動運転で行う場合、自動運転車両の周りのリアルタイム情報（路側からの提供など）が必要であり重要であるというお話しをいただきました。



横山氏による講演

5 『HD マップ、ロケーションクラウドと次世代 ITS』

自動運転には欠かせない地図データの作成を行っており、ドイツの自動車会社を買収されたという報道がされ、地図メーカーとして注目を浴びている HERE Japan の Mandali Khalesi（マンダリ カレシー）氏に「HD マップ、ロケーションクラウドと次世代 ITS」についてお話しをいただきました。

HERE は約 180 カ国で地図の作成を手がけ、欧米のナビの 9 割が HERE の地図を採用しています。そしてナビの地図から自動運転の地図へとビジネスを展開し、HD マップが欧州では注目されています。この HD マップと HERE が考えている情報のクラウドサービスについてお話しをいただきました。

HD マップは車線毎に高低差も表現した 3D マップの作



Mandali Khalesi氏による講演

成方法について紹介して頂きました。

また、HERE と SWARCO（信号機など標識会社）と共同でローマの交通渋滞対策“インテリジェント信号”や交通状況予測の実験についても紹介して頂きました。交通状況の予測は1～2時間後の交通状況の予測はおおよそ合っているとのことでした。

7 セミナー後のアンケート結果

1) セミナー全体の感想

セミナー参加者にアンケート調査を行いました。アンケートの総数は73。セミナー全体の印象としては下記の通りの結果でした。（未回答：2）

| 大変良かった | 良かった | 普通 | あまり良くなかった | 良くなかった |
|--------|-------|-------|-----------|--------|
| 24 | 36 | 10 | 0 | 1 |
| 32.9% | 49.3% | 13.7% | 0% | 1.4% |

約82%の方が「良かった」と回答がありました。その他、自由意見として；

- ① 多岐にわたる最新情報を聞くことが出来た。
- ② 普段聞けない内容であった。
- ③ 最新の話題で良かった。

2) 開催時期について

開催時期は、今回の12月上旬が良いという意見が約6割を占めていましたが、他のセミナーなどと同じ日程は避けて欲しいという意見がありました。

3) 開催時間について

開催時間については、約96%の方が午後だけで良いという回答がありましたので、今後のITSセミナーは午後だけの開催にしようと思います。

4) 今後の要望

ITSセミナーで取り上げて欲しい講義内容について下記のような意見が寄せられました。（意見が多かった順に並べます）

- ① 欧米のITS動向
- ② 道路課金
- ③ ビッグデータ
- ④ 協調ITS
- ⑤ ITSの国際標準化

5) 外国のITS視察について

外国のITS視察についてのア

ンケートを初めてやらせて頂きました。HIDOは、外国のITS関係者や道路関係者との交流があり、普通は見せてもらえない部分を見ることが出来ますので、このようなアンケートを実施してみました。

数少ない回答の中に、アジア諸国なら視察に行きたいという回答がありましたので、今後、実現出来るかどうか検討していきたいと思います。

8 おわりに

今年度のITSセミナーは、最近の話題として取り上げられているビッグデータ、ETC2.0、自動運転そして自動運転用の地図について講演していただきました。

今回のセミナーは、例年の倍以上の参加申込みがあり、また例年ですと休憩後は空席が目立つのですが最初から最後までほぼ満席に近い状態でした。参加された方々には感謝すると共に、狭い空間で長時間の講演を聴いて頂き申し訳ありませんでした。

新しい試みとして、今までのITSセミナーは国内企業の方にITSの取り組みを講演して頂きましたが、初めて外国企業の方をお招きし、講演して頂きました。次回以降も機会があれば外国企業の方をお招きたいと思っています。

ITSセミナーの開催に関して、講師の皆様、関係者の皆様のご協力に、とても感謝しております。当機構では皆様から寄せられたご意見・ご要望を踏まえ、カリキュラムの充実をはかるとともに、引き続きITSセミナー（講演）を通じて、ITSに関わる人材育成支援、人材交流の円滑化に努めて参りたいと思います。今後ともよろしく願います。



ITSセミナーの風景